

第29回 災害文化と地域社会史 研究会

—歴史の眼から問い直す南海トラフ地震—

第4回科研「災害文化を内包する地域の記憶継承に資する地域歴史資料学と地域形成史の構築」研究会

◎日時：2026年7月25日(土)13:00～17:00

◎会場：神戸大学文学部B132視聴覚室 オンライン併用

◎報告：

1. 水松啓太 (高知県立高知城歴史博物館)

久保野家文書が問いかけるもの

—「南海トラフの地震活動の長期評価」の根拠史料をめぐって—

2. 加納靖之 (東京大学 地震研究所)

「南海トラフの地震活動の長期評価」と歴史地震研究

◎申し込み：

右のQRコードからお申し込みください。 <https://forms.gle/kUvbQYWhWDv8UufE7>

折り返し詳細をご連絡いたします。

問い合わせ先：岡山大学 文明動態学研究所 ridc@okayama-u.ac.jp

事前申込必要

前日まで



主催：岡山大学文明動態学研究所・科学研究費基盤研究(A)「災害文化を内包する地域の記憶継承に資する地域歴史資料学と地域形成史の構築」(代表：奥村弘)・歴史資料ネットワーク